

2016年4月号  
Vol. 27

発行／公益財団法人千葉県文化振興財団 文化振興グループ  
〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号  
TEL 043-222-0077 FAX 043-221-6438  
E-Mail kikaku@cbs.or.jp



祝！30回  
県民の日記念  
若い芽の  
αコンサート



「若い芽のαコンサート」は、千葉県にゆかりのある将来有望な若手演奏家に、次のステージへの飛躍につなげてもらおうと昭和62年にスタートし、今年で30回を数えます。これまで84人の「若い芽」たちに出演していただいています。現在では、



県民の日記念公演として6月の最終日曜日の風物詩ともなり、事前申込みが3,000名を超えるほどの大変人気のあるコンサートとなりました。昭和62年の第1回コンサートに出演された伊藤亮太郎さんが2015年よりNHK交響楽団でコンサートマスターを務めているなど、これまでご出演いただいた皆さんは、それぞれ大活躍されています。近年では、實川風さん（第23回出演、旭市、ピアノ）が2015年ロンティボー国際コンクール第3位を、高木竜馬さん（第20回出演、千葉市、ピアノ）が2015年第19回浜松国際ピアノアカデミー第1位を、岡本誠司さん（第28回出演、市川市、

ヴァイオリン）が2014年第19回ライブツィヒ・バッハ国際コンクール第1位及び聴衆賞を受賞するなど、国際舞台での目覚ましい活躍も記憶に新しいところです。

このコンサートは、長年にわたり協賛していただいている京葉銀行、ソリストたちの演奏を支えているニューフィルハーモニーオーケストラ千葉、FM放送で公演の様をお届けいただいているNHK千葉放送局、舞台上やロビーを花で彩っていただいている千葉県立農業大学校といった様々な企業・学校・団体に協力をいただきながら30回という節目を迎えることができました。



このコンサートが40回、50回と続けていけるよう、引き続き関係機関と協力をしながら実施していきますので、これからの若い芽のαコンサートにご期待ください。



6月26日（日）に行われます、第30回若い芽のαコンサート出演者からメッセージをいただきましたのでご紹介します。



トロンボーン  
上野大介さん

この度は若い芽のαコンサートに出演させていただき、誠にありがとうございます。オーケストラの伴奏でソロを演奏させていただけるなんて夢のような話だと思っておりましたので、とても嬉しく感じております。

僕は小学六年生からトロンボーンを始め、中学校、高校と吹奏楽部を通して音楽を学ぶことができました。千葉県文化会館は吹奏楽コンクール等よく来ていた場所で、青春時代の切磋琢磨した日々や悔し涙、友人たちとの喜びを刻んだ場所です。そのような思い出深い場所で大舞台を踏めるのが楽しみで仕方ありません。

また今年で30歳という節目の年でもありますので、これからの人生への新しい1歩として満足のいく演奏ができればと思います。



©井村重人  
ヴァイオリン  
小林吉成さん

「第30回若い芽のαコンサート」に出演のお話をいただいて、とてもうれしく驚きました。千葉ゆかりの演奏家を紹介するこの歴史あるコンサートのことは、よく存じていましたし、過去に出演の方も現在とても活躍されていますから、少し気の引き締まる思いもします。ニューフィル千葉さまとの共演という素晴らしい機会を楽しんで演奏し、皆さまと一緒に音楽を楽しんで、感動できればと思っています！



ピアノ  
高橋優介さん

今回はこのような素晴らしい機会を頂き、大変嬉しく思っております。お誘い頂いた千葉県文化振興財団さんに感謝申し上げます。

個人で活動する事の多いピアノ弾きにとって、オーケストラと演奏出来る機会というのは数少なく、とても嬉しい事です。また、指揮の山下先生、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉さんと演奏させて頂けるのは、とても光栄であり、楽しみです。精一杯頑張ります。他のソリストのお二人も素晴らしい方々ですので、是非足をお運び頂けると嬉しいです。

当館では、お客様が安全に安心してご利用できる快適な空間の提供を心がけております。

これは、すべて安全というしっかりした土台があるからこそ、安心して芸術文化に触れることができるという考えに基づいています。

例えば、年2回の消防訓練の実施や救命救急の講習の受講など、万が一の時、誰もが早急に対応できるよう、日頃からの修練を大切にしております。

またこの度、安全面を考慮し、大ホールの2階・3階席に手すりを設置し、小さなお子様や高齢者の方でも安心してご利用いただけるように致しました。

今後も、この様なソフトとハードの両面でサービスの充実を図り、お客さまに快適な鑑賞空間を提供できるよう、会館職員一丸となって取り組んでいきたいと思っております。



## おかげ様で 25 周年

## 千葉県東総文化会館



豊かな緑と海、みずみずしい自然環境の中に、文化の拠点と交流の場として平成3年にオープンした千葉県東総文化会館は、今年開館25周年を迎えます。みんなに愛され、親しまれる会館として、地域とともに歩んでまいりました。今年度は、これまでの長い歴史と軌跡を辿りながら「東総の第九」「和太鼓の競演」「TOSO プラスバンドフェスティバル」や「千葉県少年少女オーケストラとアキラさんの大

発コンサート」など、アニバーサリーにふさわしい事業で盛り上げます。どうぞご期待ください！

また、旭市在住の版画家で、当館の緞帳の原画制作者である土屋金司氏の作品展「土屋金司版画の世界」を開催し、施設全体を華やかに彩ります。

アニバーサリーイヤーで賑わうホールにぜひ足を運んでいただき、県民の皆さまとともに奏でるさまざまな文化のハーモニーをお楽しみください。スタッフ一同、おもてなしの心と笑顔でお迎えいたします。



## 卒団生からのメッセージ

## 千葉県少年少女オーケストラ

3月27日(日)に行われた第20回定期演奏会「第九」は、満員のお客様において頂き、結成20周年を飾るに相応しい華やかな演奏会となりました。そんな千葉県少年少女オーケストラは、毎年、20歳を迎える団員が卒団していきます。社会へ巣立っていった卒団生も、定期演奏会になると顔を出してくれます。お祝いにつけてくれた卒団生がメッセージを残していったので、紹介します。



第20回定期演奏会の様子

私は、少年少女オーケストラを卒団して11年が経ちました。今は子育てをしながら、ピアノを続けています。これまで1度も音楽をやめたいとは思いませんでした。楽しいから続けられる。このオーケストラでは、続けることの大切さや音楽の面白さ、楽しさを教えていただきました。

今度は自分が教わったことを娘に伝えていきたいと思っています。  
平成16年度卒団：今井和美さん

これからも「よい音で、よい演奏を」をモットーに活動してまいりますのでよろしくお願いいたします。



### 〈編集後記〉

平成28年度がスタートしました。千葉県文化会館の庭園では、桜や藤をはじめとした四季折々の植物が目を楽しませてくれます。千葉県で芽吹いた『文化の芽』が大きな木に成長するよう、今年度もさまざまな事業を展開していきますので、よろしくお願いいたします。

千葉県少年少女オーケストラが21周年を迎えたこと、とても嬉しく思います。

日々、音楽と向き合う中で“音楽とどう関わっていくか”で悩む事が何度もありました。しかし“音楽と関わる事”に悩んだ事は一度もありません。それはこの恵まれた環境の中で、音楽だけに没頭することができたからだと感じています。私の音楽観はここで育てて頂きました。

在籍させて頂いた11年間で、たくさんのマエストロと先生方、作曲家に出会い、多くの音楽と言葉の中で、伝える力に感銘を受けました。現在教員として働く原点もここにあります。「できないんじゃない、やらないだけ」全ての子供達の可能性に目を向ける佐治先生のお言葉を胸に、これからも教壇に立ち続けたいと思います。  
平成24年度卒団：寺井小百合さん